

東九州自動車道全線開通へ

～大分は東九州の表玄関・臼杵は玄関口として飛躍～

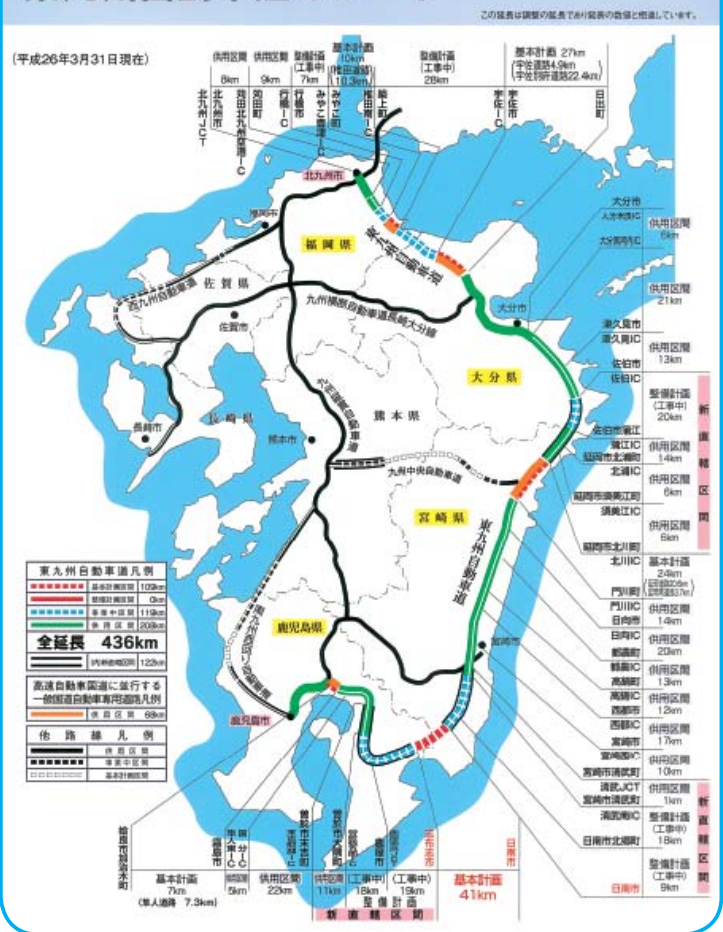
平成23年度・24年度の2ケ年間、第69代大分県議会議長として、「平成26年度、大分県は飛躍の年の幕開けとなる3つの目標」を高く掲げました。その1つは、大分駅の高架事業・駅ビルの完成。2つ目は首藤コレクション里帰り推進協議会として取り組んでまいりました大分県立美術館の開館です。そして3つ目は東九州自動車道（大分県内）の全線開通です。大分県立美術館は世界的に有名な坂茂氏の設計により、平成27年春に完成。武蔵野美術大学教授の新見隆氏を館長に迎え開館することとなりました。

東九州自動車道



第69代大分県議会
議長就任

東九州自動車道のルート



平成24年度は予算編成の本丸である財務省にも要請活動を行ないました。その結果、平成24年度補正予算と25年度当初予算で、距離が短い一番難所であります佐伯～蒲江間（20・4km）になんと206億円もの予算がつきました。ちなみに、臼杵市は平成25年度予算は204億円であり、それに匹敵する事業費に現在突貫工事が行なわれております。そして、昨年末の12月25日クリスマスビッグポイントに人と物の流れが四国、

さらに四国へ、関西から関東へ

- ◆四国への豊予ルート（新太平洋国土軸）実現へ
 - 大分県議会九州・四国トンネル建設促進議員連盟設立 平成26年3月～会長に就任～
 - 衆参国會議員連盟・四国愛媛県議會議員連盟と連携
- ◆東九州新幹線の実現へ 九州知事会でも東九州新幹線実現への決議がなされ、これから県民あげて国へ本格的な要請活動を開始いたします。



県立芸術会館 完成予想図

は、長年「早期開通」・「早期完成」と訴えてまいりましたが、私が議長の時「東九州自動車道は開通年次の目標をまず設定し、

折しも、平成24年12月の総選挙で自由民主党・公明党政権が再び国民の信を受け、早速日本再生への取り組みが始まりました。特に東九州自動車道は基幹交通網の整備に加えて、東南海・南海・日向沖地震・津波から人を守る「命の道路」としての役割が高いことか

平成24年度は予算編成の本丸である財務省にも要請活動を行ないました。その結果、平成24年度補正予算と25年度当初予算で、距離が短い一番難所であります佐伯～蒲江間（20・4km）になんと206億円もの予算がつきました。ちなみに、臼杵市は平成25年度予算は204億円であり、それに匹敵する事業費に現在突貫工事が行なわれております。そして、昨年末の12月25日クリスマスビッグポイントに人と物の流れが四国、

全線開通の経済効果 東九州自動車道（北九州～大分～臼杵市）までの全線開通の意味するところは、九州一円が高速道路で結ばれることであり、その経済効果は3兆9千億円と試算されており、大分県が東九州の表玄関、取り分け臼杵市はその玄関口として四国へ、関西へと人と物の交流拠点都市として発展することになるのです。

業化を急いでまいります。東九州自動車道（北九州～大分～臼杵市）までの全線開通の意味するところは、九州一円が高速道路で結ばれることであり、その経済効果は3兆9千億円と試算されており、大分県が東九州の表玄関、取り分け臼杵市はその玄関口として四国へ、関西へと人と物の交流拠点都市として発展することになるのです。

新政権で日本再生 県民運動の展開 折しも、平成24年12月の総選挙で自由民主党・公明党政権が再び国民の信を受け、早速日本再生への取り組みが始まりました。特に東九州自動車道は基幹交通網の整備に加えて、東南海・南海・日向沖地震・津波から人を守る「命の道路」としての役割が高いことか

平成26年度開通が決定 折しも、平成24年12月の総選挙で自由民主党・公明党政権が再び国民の信を受け、早速日本再生への取り組みが始まりました。特に東九州自動車道は基幹交通網の整備に加えて、東南海・南海・日向沖地震・津波から人を守る「命の道路」としての役割が高いことか

全線開通の経済効果 東九州自動車道（北九州～大分～臼杵市）までの全線開通の意味するところは、九州一円が高速道路で結ばれることであり、その経済効果は3兆9千億円と試算されており、大分県が東九州の表玄関、取り分け臼杵市はその玄関口として四国へ、関西へと人と物の交流拠点都市として発展することになるのです。

業化を急いでまいります。東九州自動車道（北九州～大分～臼杵市）までの全線開通の意味するところは、九州一円が高速道路で結ばれることであり、その経済効果は3兆9千億円と試算されており、大分県が東九州の表玄関、取り分け臼杵市はその玄関口として四国へ、関西へと人と物の交流拠点都市として発展することになるのです。

特集号

志村・学後援会だより
編集 三水会
発行責任者
志村・学後援会長
中村 敬一

21

21世紀に輝く臼杵！

逆算して年度毎の予算を要するよう」進言いたしました。平成23年度の時点で東九州自動車道の佐伯～蒲江間の開通は平成28年度以降の完成との発表が国土交通省より行なわれていたところでありました。

土交通省に対して、県はもちろん関係市として経済界団体に呼びかけ県民運動を展開してまいりました。その具体的な行動として、21,700枚のステッカーをトラック・乗用車へ掲示。大分合同新聞へ二度の全面広告。そして、県議会と市町村議会が一体となって議会での国に対する要望・意見書を2ヶ年続けて決議し、国へ要請するなど全力を尽してまいりました。



東九州道建設促進地方大会で登壇する志村県議

関西へと向かうことになりま。それを見越して臼杵港を集中的に整備。平成29年には耐震型の埠頭、将来は2つの埠頭を有する港とし、今でもその交通量（バス・トラック・乗用車）は年間20万台と県下でトップであります。港の完成と高速道の完成でさらに交通量はアップいたします。そのため、現在の柳原線の整備はもちろん、掛町、平清水を通る臼杵停車場線の整備を急ぐ必要があります。現在、県・市で精力的に協議・調査・事業を実施しております。一方、港からのアクセス道路は防災面でも命を守る重要な路線であり、かつてから申し上げてまいりました「南部環状線」は交通量・交通動向もにらみながら、新設へと事業化を急いでまいります。

おかげさまで5期20年

確かなあゆみこれからも

県議会議員 2 期目

(平成11年～15年)

- 文教委員長就任…「心の教育」の推進
～首藤定氏の人間愛溢れる偉業を子供たちに伝える～
△首藤コレクションの里帰りを旨として大分県推進協議会を設立 ～理事長に就任～
- 国際交流による相互理解を深めるために、公立高校の海外への修学旅行を推進する。
△海外への修学旅行の制度を新設する。
△平成12年度は県立野津高校の台湾など県下13校がアジアの国々へ修学旅行を実施。
△台湾へは現在、県立大分舞鶴高校が台湾台北第一女子高・台湾大学と交流研究を続けている。



野津高校修学旅行
－台湾高雄・高英高校との交流－



東洋美術館の学芸員が
首藤コレクションを1点1点説明する



ロシアモスクワ国立東洋美術館
メタクサ副館長と会談

県議会議員 1 期目 (平成7年～11年)

- 土木建築委員長に就任
△均衡ある県土の発展を要請。
△災害に強い県土整備を推進する。
- 臼杵川床上浸水対策特別緊急事業を実施
総工費約40億円で平成25年に完成。
△平成9・10年の台風による浸水被害の実態を調査
△温井川と小河内川の河川の改修と分流事業を行い分流に伴い「赤猫橋」を新規に架ける。
△臼杵川本体の河床を掘削し、掘削土を新臼杵港の埋立に利用(河川と港の相乗効果事業を実施)



小河内川・温井川分流改修事業
新設の「赤猫橋」

第63回おおいた国体水泳競技の開会



大分県水泳連盟会長として挨拶する志村県議

【国道の整備】

●国道502号 臼杵城から竹田市・岡城の遊学
ネットワーク・国交省と文化庁の共同事業

▲平成13年度内 一木橋から清太郎間
▲平成14年 望月・新川・深田・竹場間
幅25m県南唯一の四車線
臼杵の玄関道路完成

▲都松地区の整備と合併時、
一時期事業が中断された後、再開
平成26年全線改良開通へ

●国道217号

▲佐志生一尺屋間
○臼杵側工区 平成24年度完成
○大分側工区工事開始



502号線都松工区改修工事

【すべての県道の整備】

●幻の県道

▲大泊浜徳浦線
△平成7年9月議会で「幻の県道」と称し全線改良への質問を行う。
△楠屋く泊ヶ内間を林道で
平成25年10月17日完成し「幻の県道」の汚名を返上
△今後は

○深江トンネル・久保浦トンネルなど全線改良を実施

●津久見・野津線 東神野地区の整備進む

●川登・臼杵線 乙見地区整備推進

●野津・宇目線 平成26年完成

●吉野原・犬飼線 地元の協力を得て事業実施中

●下ノ江港線

下ノ江地区の安心安全のための、生活・産業道路として地元、JRの協力を得て整備致します。

●柳原線

本丁工区事業実施

●臼杵停車場線

フェリーからの大型車の通行に耐え得る整備を実施します。



改良中の吉野原・犬飼線
－野津町大字千塚－

【急傾斜事業】

急傾斜改良率40%は県内整備率第1位
・北海添米山：急傾斜事業の県モデル事業に指定

県議会議員 5 期目 (平成23年～)

●第69代大分県議会議長に就任（「万機公論」を旨に議会での議論を活発にする）

△県議会議長と18市町村議会議長との協議会を発足
政策と情報を常に共有し決議した意見書をまとめ国へ要請

H23年度は東九州自動車道の平成26年完成を目指す
H24年度は災害対策に関する協議を実施

△県議会災害対策連絡協議会を発足

平成24年夏の九州北部豪雨災害に対する取組みについて、執行部と議会の一体化により対策強化を図る
対策本部は正副議長と常任委員長で構成、オール議会オール県庁で災害に対し、関係市町村・国と三位一体で対応する

△県議会議員と県民の対話会の実施

正副議長、広報委員長と各界の若手、主婦の方々と
の県民対話によって情報・政策の共有を図った。

●議員定数を44名から43名に1名削減

●全国都道府県議長会国土交通委員長に就任(平成23年度)

△東九州自動車道 佐伯～蒲江間 の平成26年度開通を目指すべく現地視察を実施、国へ要請。

●全国都道府県議長会農林水産環境委員長に就任

(平成24年度)

△帯広（十勝地方）の農家を視察 ～農村農地基盤整備事業における、特に土地改良事業での農家負担の軽減



九州北部豪雨災害の日田市で当時の野田首相と視察



国土交通省吉崎九州整備局長(当時)へ陳情



全議国土交通委員会東九州道「佐伯-蒲江間」視察「蒲江トンネル」の説明を受ける



県民との対話会（第1回）を実施。貴重な意見を受ける

県議会議員 3 期目 (平成15年～19年)

●福祉保健生活環境委員

●子育て支援の充実

△産婦人科と小児科の連携事業の推進

△乳幼児医療費無料化（臼杵市は乳幼児から未就学児まで医療費が無料）

△妊婦の定期検診を年2回から14回全てへ支援拡大

△不妊治療に対する支援の拡大

●文教委員長に就任（2度目）

▲平成16年度より、小学校1年生に30人学級を導入、その後30人学級は小学校2年生・中学1年生へと拡充される。

▲平成18年度より、県教委公立高校教員に教員バッジの着用を提案・実施。



臼杵市認可保育園協議会主催の「ちびっこふれあいフェスタ」



「ドリームフェスタ」みずほ厚生センターの文化祭

県議会議員 4 期目 (平成19年～23年)

●第87代大分県議会副議長に就任

●県議会改活協議会会長として議会改革に取り組む

△議会一般質問に対面方式による一問一答方式などを導入



出前県議会の開催



県議会1問1答方式で質問する志村県議



馬代堰改修事業



大坪地区熊崎川河川改修事業

【河川改修熊崎川（大坪地区）改修を推進】

【馬代堰事業実施中】

▲臼杵市高山地区・野津東光寺地区における河川改修と、ほ場整備事業の同時事業完成

【大分県土地改良促進議員連盟代表とし事業を推進】

危険ため池は農家の負担を平成26年度より1%に止めました。

【ため池改修などの農家の負担の軽減を計ります】

【河床掘削】

緊急河床掘削を議会で提案し実施（年2億5千万事業）
臼杵市は末広川・熊崎川・野津王子川などで実施



野津・栃原地区の急傾斜事業



進む臼杵港の整備事業

・深田地区・下り松地区・下ノ江浦地区・深江地区等実施中
・野津地区は合併により個人負担を軽減…東光寺、細枝、椎原、栃原地区などを実施中



平成26年度
予算について

質問Ⅱ 志村議員

私ども、自由民主党大分県議員団は毎年、友好団体や地元の方々と、次年度の国政や県政に対する要望や意見交換を行い、具体的な要請を県にしておりますが、その内容が十分に取入れられた予算編成となっており、と自負しております。

本議会に上程された当初予算案が可決した暁には、知事はどのように執行されるか、お聞かせいただきたい。

答弁Ⅱ 広瀬知事

次の三つを特に重視しながらやっていきたいと考えております。

第一には、職員が出向き、現場の声に耳を傾け、現場に適合した事業を遂行すること。

第二は、子育て支援や高齢者の見守り、防災、安全、安心なまちづくり、ごみゼロといった作戦の推進など、引き続き地域の方々と連携して、事業効果を高

めていきます。

また、世界農業遺産やジオパークでは、ブランドづくりや環境保全、観光など地域の活性化につなげます。更に、来年度は新たに豊かな水環境づくりに取り組みます。

第三は、県政広報誌「新時代おいた」の全戸配布を始め、新聞、テレビによる広報や県政出前講座などにより周知を図ります。

県議会報告

自民党県議会の幹事長、県議会議長を務めた期間は中断していたが、本年3月に一般質問をしたその要旨。

県職員採用について

質問Ⅱ 志村議員

採用試験を受ける側の人は、例えば知事や警察本部長の生きざまや人となり、そのことに共感を覚え、その人のもとで働きたいと願う人も、多いのではないかと思います。採用任命権者は重要な立場にある。その意味から、知事、

警察本部長、教育長は、県職員採用にどのように関わっているのか、お尋ねしたい。

答弁Ⅱ 広瀬知事

若手職員五十名から成る県庁ナビゲーター制度を導入して、受験希望者に県の仕事や県職員の魅力を伝え、採用確保につなげようという取り組みも始めました。

答弁Ⅱ 大沢警察本部長

本年度から、より一層の人物重視の採用を行うため、面接の配点割合を拡充し、さらに来年度からは、教養試験の出題範囲に公務員倫理が取り入れられることとなっております。

答弁Ⅱ 野中教育長

面接試験において、みずから課題を見つけ自分で考え行動できるか、組織の一員として協調してやっているか、という観点を評価項目に加えるなど、毎年必要な改革改善に取り組んでいるところです。

再質問Ⅱ 志村議員

県警には武道枠というのがあるが、高卒者あるいは



国交省への予算要望（衆議院議員会館内）

県内大会でも適用するように少し枠を広げたらどうか、また武道といっても、柔道、剣道だけでなく、合気道、空手道、少林寺拳法、相撲道などまで枠を広げ、優秀な人材を集めるということも、検討していただきたいと思っております。

再答弁Ⅱ 大沢警察本部長

武道枠は将来の柔道、剣道などの武道指導者を養成するため実施しているものですが、平成24年度、加點制度を導入し、それ以降、高校卒業程度の採用試験で12名合格しております。

採用試験については、警察に求められる人材が採用されるよう致します。

東九州新幹線

質問Ⅱ 志村議員

建設促進期成会は、昭和46年8月に設立され、既に40年が経過しております。その要望活動への取り組みはどのようにしているのか伺いたい。

さて、視点を新幹線的全国網の点から見てみますと、東九州新幹線と、同じく基本計画である四国新幹線の両建設促進期成会を、共同歩調とすることが、肝要であると考えますが所見を伺います。

答弁Ⅱ 広瀬知事

九州地方知事会でも早期整備の特別決議を行い、本年一月には宮崎市でシンポジウムが開催されたところであります。

東九州自動車道

質問Ⅱ 志村議員

北九州市から大分県、そして宮崎までの間、いよいよ来年春、全線開通の予定となっております。これに自動車道が九州ぐるりとつながるわけですが、本県にはどのような経済効果が期待されているのか、お示しをいただきたい。

答弁Ⅱ 畦津土木建築部長

国の試算によりますと、県内では一兆三千億円の経済波及効果が見込まれており、例えば、輸送の効率化により農林水産物や加工品の関西を初め県外における市場競争力が高まります。さらに、「おんせん県おおいた」への観光客の増加も大いに期待されるところであります。

既に「道の駅かまえ」で

東京オリンピック

質問Ⅱ 志村議員

過日、自由民主党大分県議員団が下村文部科学大臣にお会いしたときに「オリンピックは東京だけではなく、日本全体を元気にし、日本全体を元気にする。日本全体を元気にする。日本全体を元気にする。」と、具体的な、国際車いすマラソンを33回実施している大分県に注目と期待をしている。パラリンピックにおいては、トレーニング施設などが必要とされる場合の候補地の可能性がある」と話されたということ。具体的な育成策と施設整備計画についての所見を伺いたい。

山内流の公開演技

質問Ⅱ 志村議員

本年3月22・23日、第62回日本泳法（全国で13流派あり、その内12流派は家元制であるが白杵山内流は唯一公設公営）研究会が、日本水泳連盟の主催で、山内流が主体となり、白杵市民会館で研究発表会が、そし



山内流大会で祝辞を述べる

て大分商業高校の水球プールで実技が公開されました。

この山内流は、前回の東京オリンピックのときは、芝ゴルフ場プールで公開演技を行いました。

2020年東京大会でも大分県水泳連盟として公開演技ができるようにお願い致しますが、県としてもお力を賜りたいと思っております。

台湾との経済交流

質問Ⅱ 志村議員

今後、開催準備の状況を注視しながら、大分県水泳連盟とともに、公開演技の実施に向けた働きかけについて検討したいと考えています。

答弁Ⅱ 野中教育長

今後、開催準備の状況を注視しながら、大分県水泳連盟とともに、公開演技の実施に向けた働きかけについて検討したいと考えています。

国際交流

質問Ⅱ 志村議員

平成12年に海外への修学旅行が実現しましたが、昨今はオーストラリアとニュージーランドが多くなっておりますが、アジアの国々にぜひ修学旅行をお勧めいただきたい。それは、若い時代からアジアの国々

芸術交流

質問Ⅱ 志村議員

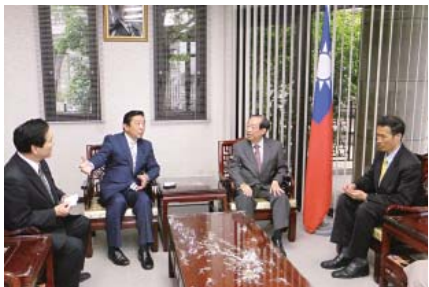
の方々とお互いに交流し合うこと、お互いの国を理解し合うこと、このことが非常に大事なことでないかなと思っております。教育委員会として、ぜひ各学校へ発信していただきたい。

答弁Ⅱ 野中教育長

保護者の意向も踏まえながら各学校長が主体的に決定すべきものであります。が、県教育委員会としては、関係機関とも連携をとりながら、アジア各国での修学旅行、研修等の取り組み実績など、学校への情報提供に努めてまいります。

答弁Ⅱ 塩川企画振興部長

今年で12回目を迎える大分アジア彫刻展においても台湾からの応募がございました。本当にいつの日にか、新しくできる美術館でもそういう展示等ができるようになるれば本当にいいことだと考えております。



台北駐福岡経済文化弁事処 曾念祖処長と会談

首藤コレクシヨンとロシアとの交流

質問Ⅱ 志村議員

今後は、日ロ関係の課題である北方領土返還、ある

いは日ロ平和条約の締結についての進展があった際には、ロシアと日本の親善友好のあかしとして、再び首藤コレクシヨンが寄贈されることに思いをはせております。

また、昭和50年、当時のソ連政府より寄贈された首藤コレクシヨンの一部、福田平八郎画伯の作品は、所蔵されている京都国立近代美術館から、県立美術館へ移管すべきと考えています。が、県の取り組みをお聞かせいただきたいと思います。

答弁Ⅱ 広瀬知事

京都の美術館とこれまで以上に協力関係を深め、また、ロシアから借りられるものも含めて、可能な限り首藤コレクシヨン作品の展示機会をふやしていきたいと思っております。



アファナシェフロシア大使 首藤定顕彫碑を視察の際白杵石仏を訪ねる

三水会だより

第18回を迎えた志村県議を応援する会三水会総会

は、昨年の9月28日(土)に会

員101名の出席のもと亀城鶴で開催された。



三嶋会長の挨拶

後藤敦子女史による軽妙な司会のもと、内藤純孝自民党野津支部長の開会のことばに始まり、三嶋輝男野津後援会長の主催者挨拶に続いて、志村県議によるお礼の挨拶と県政報告がなされた。

引き続き行われた懇談会では、中島究野津後援会副

日帰りバスの旅

平成13年6月19日(水) 131名参加

難工事現場を見学

今回は志村県議の要望もあつて、東九州自動車道の蒲江から佐伯へと抜けるトンネル工事現場付近の見学をメインに、バス3台に分乗して出かけた。

現地では、現場監督の方から、当初の予想より岩盤が硬く、それがネックとなつて工事が遅れているなどの説明を受け、トンネル内にも入ってみました。

大岩会

志村県議を応援するゴルフの会



工事状況の説明を聞く一行

第17回を迎えた大岩会チャリティコンペが、昨年10月17日(木)165人が参加して白杵CCで開催された。会場を亀城鶴に移しての懇親会、そして成績発表では、白川典参会長の挨拶に続いて志村県議よりお礼の挨拶の後、今回もチャリティとして車椅子4台を白



白川会長より車椅子の贈呈



挨拶する浜田会長